

10月の声を聞き、なんだか急に寒くなったと感じているのは私だけでしょうか？
今回は何をご紹介しますか、あれこれ迷った結果どうしても忘れがちになりやすい、作動油タンク
廻りのメンテナンスをご紹介しますと思います。

作動油タンク廻りのメンテナンス

右の写真はタノ製の25ton吊フレッサーの作動油タンクです。作動油タンクは大別すると開放式と密閉式があり、クレーン車の作動油タンクは開放式が多く採用されており、ここでは開放式のタンクについてお話したいと思います。

メンテナンス1・油量点検

大概の場合油量はタンクに取付てある油面計で点検してください。クレーンを走行状態にして平坦な場所に置いて行ってください。油面計は温度による体積変化を考慮して温度表示してあるものが大半です。油温が20度の時は、20度と0度の間に油面があれば適量です。不足している場合は補充してください。

メンテナンス2・リターンフィルターの交換

機種によって異なりますが、通常リターンフィルターはタンク内に取付てあり、カバーを取外す事により比較的簡単に交換する事ができます。機種によって異なりますが、通常リターンフィルターは新車時より200時間から300時間内に交換しその後500時間又は6ヶ月毎に交換する事をお勧めします。リターンフィルターは各部で使用された油をろ過し、タンクに戻す役目をしています。

交換を怠るとポンプなどの早期故障に繋がります。是非定期交換する事をお勧めします。作動油タンク容量の大きい機種にはタンク外にもう一つカートリッジタイプのフィルターが取付てあります、合わせて交換を行ってください。詳細については取扱い説明書を参照してください。

メンテナンス3・エアブリーザー交換又は清掃

作動油タンクの給油口にはエアブリーザーが取付てあり、タンク内の油が増減する事で発生する空気の入出力を行っています。機種によって異なりますが、エレメントが取付てあり交換するタイプと清掃するタイプがあります。いずれの場合もメンテナンスを怠ると作動油タンク内の空気の入出力が自然に出来なくなり、作動油タンクが膨らんだり縮んだりした結果、作動油タンク溶接部に亀裂が入り油漏れを起こす事がありますので、定期交換又は清掃する事をお勧めします。右の図は交換するタイプのもので給油キャップを取外しエレメントを交換してください。

交換時期はリターンフィルターと同様に500時間又は6ヶ月毎です。

メンテナンス4・作動油の交換

作動油もエンジンオイル同様定期交換が必要です。定期交換を怠るとポンプ・モーター等の高額油圧機器の故障を引き起こすだけではなく、パッキン・シール・リング等の早期劣化を引き起こしやすくなり油漏れの原因にもなります。通常の交換時期は2000時間又は2年毎の交換です。交換時期が長い為忘れがちになりますが、交換時期を守る事により突然の故障や高額修理に繋がる故障が未然に防げる事は否定できません。是非定期交換をなされてはいかがでしょうか？

作動油交換時の注意事項として一番注意しなければならない事は油圧ポンプのエア抜きです。作動油を給油ポンプ等で抜き取り交換を行いますが、その際油圧ポンプ吸入側にはエアが入ります。油圧ポンプのエア抜きを行わないで油圧ポンプを回転させると、油圧ポンプは破損します。作動油交換時は油圧ポンプのエア抜きが必要な事を認識してください。

*** 油圧ポンプの破損に繋がりますので、作動油交換は国際サービスに是非お任せください。**

作動油交換時にはメンテナンス3でお話した、リターンフィルターの交換も合わせて行ってください。ここでは作動油タンク廻りのメンテナンスをお話しましたが、油圧関係のメンテナンスはこれだけではありません。代表的なものとして、機種により各部に設けられたラインフィルターの交換もしくは清掃、アキュムタンのガス圧の点検及び充填などがありますので、取り扱い説明書を参照するか、国際サービスシステムにご相談ください。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。

